

## 第37回日本血液事業学会総会プログラム

### SL1

---

#### 特別講演 1

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）13：00～14：00 第 1 会場

---

#### ノーベル化学賞を受賞して

演者：鈴木 章（北海道大学名誉教授）  
座長：西本 至（日本赤十字社血液事業本部長）

### SL2

---

#### 特別講演 2

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）16：00～17：00 第 1 会場

---

#### ABO 血液型不適合腎移植への挑戦 ー本当に移植前の抗体除去療法は必要なのか？ー

演者：高橋 公太（新潟大学大学院腎泌尿器病態学教授）  
座長：南 陸彦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター所長）

### SL3

---

#### 特別講演 3

---

第 2 日目：10 月 22 日（火）13：00～14：00 第 1 会場

---

#### 総会長招聘講演 オランダの血漿分画事業

演者：Dr. Paul Strengers（Amsterdam Sanquin 役員）  
座長：高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター所長）

### SL4

---

#### 特別講演 4

---

第 2 日目：10 月 22 日（火）14：00～15：00 第 1 会場

---

#### 血漿分画事業の現状と将来～日本と諸外国～

演者：上田 英彦（一般社団法人日本血液製剤機構理事長）  
座長：池田 久實（北海道赤十字血液センター名誉所長）

SL5

---

**特別講演 5**

---

**第3日目：10月23日（水）11：00～12：00 第1会場**

---

**龍馬と北海道**

演者：原子 修（札幌大学名誉教授）

座長：加藤 俊明（日本赤十字社北海道ブロック血液センター副所長）

## SY1

---

シンポジウム 1

---

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）10：00～11：55 第 1 会場

---

## これからの若年層献血の推進（同世代からの働きかけ）

座長：井上 慎吾（日本赤十字社血液事業本部）

菅原 拓男（北海道赤十字血液センター）

## ①厚生労働省における若年層献血推進のための取組

信沢 正和（厚生労働省医薬食品局血液対策課）

## ②学生ボランティア 5100 名の存在意義

角田 藍美（平成 23 年度全国学生献血推進実行委員長）

## ③コンテンツパワーを利用した献血啓発の展開

中田 大作（コンテンツエージェント株式会社コミックマーケット献血応援  
イベント事務局）

## ④福島県における若年層への広報展開

金子 健一（福島県赤十字血液センター）

## ⑤埼玉県における若年層の献血推進への取組み

池辺 隆弥（埼玉県赤十字血液センター）

## SY2

---

シンポジウム 2

---

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）10：00～11：55 第 2 会場

---

## 血液事業における今後の MR 活動の在り方

座長：土肥 博雄（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

谷 慶彦（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

## ① MR 活動の過去

上江洲富夫（沖縄県赤十字血液センター）

## ② MR 活動の現状と課題

高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

## ③血漿分画製剤の販促活動の現状と今後について

秋山 裕治（一般社団法人日本血液製剤機構）

## ④医療機関輸血部から見た MR への期待

椿 和央（近畿大学医学部奈良病院輸血部）

## ⑤日赤 MR として

高橋 雅彦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

## SY3

## シンポジウム 3

第 1 日目 : 10 月 21 日 ( 月 ) 14 : 00 ~ 15 : 55 第 1 会場

## 再生医療の進歩

座長 : 江藤 浩之 ( 京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用部門 )

田所 憲治 ( 日本赤十字社血液事業本部 )

## ① 多能性幹細胞を用いる細胞治療の動向

木村 貴文 ( 京都大学 iPS 細胞研究所基盤技術研究部門 )

## ② iPS 細胞技術を用いた神経疾患研究と治療

赤松 和土 ( 慶應義塾大学医学部生理学教室 )

## ③ iPS 細胞技術を用いたがん抗原特異的 T 細胞の再生

河本 宏 ( 京都大学再生医科学研究所再生免疫学分野 )

## ④ Platelet lysate で培養した骨髄間質細胞移植による脳梗塞再生医療

七戸 秀夫 ( 北海道大学医学研究科脳神経外科 )

## ⑤ 幹細胞培養液を用いた臓器の再生

上田 実 ( 名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器下科学講座顎顔面外科学 )

## SY4

## シンポジウム 4

第 2 日目 : 10 月 22 日 ( 火 ) 09 : 00 ~ 10 : 55 第 1 会場

## 広域事業運営の現状と問題点

座長 : 伊藤 孝 ( 日本赤十字社東北ブロック血液センター )

高松 純樹 ( 日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター )

## ① ブロックセンターと地域センターとの連携・役割

濱口 元洋 ( 愛知県赤十字血液センター )

## ② 医療機関との連携

河 敬世 ( 日本赤十字社近畿ブロック血液センター )

## ③ 検査・製剤業務集約の検証

平 力造 ( 日本赤十字社血液事業本部 )

## ④ 安定供給、広域需給体制の検証

日高 敏 ( 日本赤十字社東北ブロック血液センター )

## ⑤ 経営効率性の検証

江口 祐司 ( 日本赤十字社血液事業本部 )

SY5

---

シンポジウム 5

---

---

第2日目：10月22日（火）15：00～16：55 第1会場

---

## 献血推進・安定供給への取り組み

座長：清川 博之（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

池田 和真（岡山県赤十字血液センター）

## ①中四国ブロックにおける献血推進委員会の活動状況

片岡 智（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

## ②抗原陰性血とまれ血の安定供給に向けた検査体制

石丸 健（日本赤十字社血液事業本部）

## ③広域事業体制における九州ブロック HLA 適合血小板の成果と問題点

鹿毛 哲也（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

## ④近畿ブロックにおける増大する AB 型血小板製剤・血漿製剤の需要動向と確保の課題

細井 正弘（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

## ⑤広い供給エリアを持つ血液センターにおける供給体制の課題

小池 敏幸（長野県赤十字血液センター）

SY6

---

シンポジウム 6

---

---

第2日目：10月22日（火）15：10～17：00 第2会場

---

---

(第20回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム合同開催)

---

## 採血副作用の原因とその防止対策

座長：山本 哲（北海道赤十字血液センター）

牧野 茂義（虎ノ門病院輸血部）

## ①血液事業における採血副作用－血管迷走神経反射とその防止策

松崎 浩史（日本赤十字社血液事業本部、東京都赤十字血液センター）

## ②採血時の神経損傷と予防策

溝口 秀昭（埼玉県赤十字血液センター）

## ③ドナーアフレスシス、治療的ヘムアフレスシスにおける留意点

上田 恭典（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院血液内科・  
血液治療センター外来化学療法センター）

## ④自己血輸血における採血副作用

脇本 信博（帝京大学医学部整形外科・輸血部）

## SY7

## シンポジウム 7

第3日目：10月23日（水）09：00～10：55 第1会場

「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」施行後の関係団体の役割と協力体制

座長：小寺 良尚（愛知医科大学造血細胞移植振興寄附講座）

河 敬世（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①患者の治療成績の向上に向けて造血幹細胞移植推進法の目指すもの

泉 潤一（厚生労働省健康局臓器移植対策室）

②骨髄移植推進財団から

小寺 良尚（愛知医科大学医学部造血細胞移植振興寄付講座）

③日本さい帯血バンクネットワークから

加藤 俊一（東海大学医学部）

④「造血幹細胞提供支援機関」としての役割

田所 憲治（日本赤十字社血液事業本部）

⑤国際協力の現状

小瀧 美加（公益財団法人骨髄移植推進財団移植調整部）

## SY8

## シンポジウム 8

第3日目：10月23日（水）09：00～10：55 第2会場

献血者の検査サービスと健康管理

座長：中島 一格（東京都赤十字血液センター）

紀野 修一（旭川医科大学病院臨床検査・輸血部）

①検査異常値献血者への対応とパニック値の考え方

尾山 秀明（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

②生化学検査高値を通知された献血者に対するアンケート調査

圓藤ルリ子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

③ALT 高値異常献血者への通知とそのフォローアップ結果

鈴木 雅治（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

④グリコアルブミン高値献血者への受診勧奨通知とその効果

佐藤 直美（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

⑤LDL コレステロールの検討

伊原 弘美（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

⑥血球計数検査異常値献血者への通知と受診結果

木村 恵子（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

## EL1

---

教育講演 1

---

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）14：00～14：30 第 2 会場

---

## コンピューターシステムの現状と今後の発展性

演者：中平 光博（日本赤十字社血液事業本部）

座長：沼田 芳彰（日本赤十字社血液事業本部）

## EL2

---

教育講演 2

---

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）14：40～15：10 第 2 会場

---

## 採血副作用の対応

演者：真野 貴己（東京海上日動火災保険株式会社本店損害サービス部医療賠償損害サービス室）

座長：碓井 達夫（日本赤十字社血液事業部）

## EL3

---

教育講演 3

---

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）17：00～17：30 第 1 会場

---

## NICU における輸血療法

演者：長 和俊（北海道大学病院周産母子センター）

座長：牟禮 一秀（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

## EL4

---

教育講演 4

---

---

第 1 日目：10 月 21 日（月）17：40～18：10 第 1 会場

---

## 輸血による鉄過剰症とキレート療法

演者：生田 克哉（旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍内科学分野）

座長：神前 昌敏（大阪府赤十字血液センター）

## EL5

---

教育講演 5

---

---

第2日目：10月22日（火）17：00～17：30 第1会場

---

## Patient Blood Management

演者：豊嶋 崇徳（北海道大学大学院医学研究科血液内科）

座長：佐川 公矯（佐賀県赤十字血液センター）

## EL6

---

教育講演 6

---

---

第2日目：10月22日（火）17：00～17：30 第3会場

---

## スキルアップ

演者：松崎 浩史（日本赤十字社血液事業本部、東京都赤十字血液センター）

座長：上林 正昭（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

## EL7

---

教育講演 7

---

---

第3日目：10月23日（水）11：00～11：30 第2会場

---

## 細菌不活化・NATスクリーニングの国内外の現状

演者：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

座長：河原 和夫（東京医科歯科大学医学部）

## EL8

---

教育講演 8

---

---

第3日目：10月23日（水）11：40～12：10 第2会場

---

## 脳死と臓器移植

演者：嶋村 剛（北海道大学病院臓器移植医療部）

座長：加藤 恒生（日本赤十字社血液事業本部）



## WS

---

ワークショップ 1

---

---

第3日目：10月23日（水）11：00～12：00 第3会場

---

## HB ワクチンプログラム

座長：高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

- ①諸外国における抗 HBs 人免疫グロブリン製剤用原料血漿の確保

脇坂 明美（一般社団法人日本血液製剤機構）

- ②抗 HBs 人免疫グロブリン製剤の原料血漿確保に向けた取組

西田 一雄（日本赤十字社血液事業本部）

- ③ HBIg 用原料血漿確保にかかる検査体制の変遷と今後の課題

平 力造（日本赤十字社血液事業本部）

- ④ HB ワクチン接種の副反応

松崎 浩史（日本赤十字社血液事業本部、東京都赤十字血液センター）

## SP

---

ブロック血液センター所長推薦優秀演題

---

---

第1日目：10月21日（月）17：00～18：20 第3会場

---

## ブロック血液センター所長推薦優秀演題発表会

座長：伊藤 孝（日本赤十字社東北ブロック血液センター）  
高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

## 【北海道ブロック】

SP-1 PK7300 による不規則抗体スクリーニングの臨床的意義  
久保 晴敬（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

## 【東北ブロック】

SP-2 血液製剤使用状況調査に基づく血液需要将来予測－秋田県合同輸血療法委員会の調査から－  
阿部 真（秋田県赤十字血液センター）

## 【関東甲信越ブロック】

SP-3 液体凍結装置を用いた高速凍結技術の血漿製剤への応用  
榎本 圭介（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

## 【東海北陸ブロック】

SP-4 交差試験不適合として苦情調査した献血者の追跡調査  
松岡 ミエ（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

## 【近畿ブロック】

SP-5 地方小都市における若年層対策としての「献血トークショー」の開催について  
小谷 康文（京都府赤十字血液センター）

## 【中四国ブロック】

SP-6 若年層献血推進のため岡山県学生献血推進連盟の協力を得て実施した「キッズ献血」  
水畑 太輔（岡山県赤十字血液センター）

## 【九州ブロック】

SP-7 VVR の発症防止に関する一考察－アンケート調査による事前情報を活用して－  
赤司 尚子（長崎県赤十字血液センター）

## 【総会長推薦追加演題】

SP-8 下肢筋緊張運動法の VVR 防止効果  
三谷 孝子（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

---

**共催（ランチョン）セミナー**

---

**第1日目：10月21日（月）12：00～12：45**

---

**共催セミナー 1（第1会場）**

共催：テルモ BCT 株式会社

**The latest status of pathogen reduction technology in Europe.**

演者：Dr.Jean-Louis Kerkhoffs（Sanquin Bloedvoorziening）

司会：佐竹 正博（日本赤十字社中央研究所）

---

**共催セミナー 2（第2会場）**

共催：富士レビオ株式会社

**高感度 HBsAg 検査により B 型肝炎治療はどう変わるか**

演者：松本 晶博（信州大学医学部付属病院肝疾患診療相談センター）

司会：佐藤 博行（長野県赤十字血液センター）

---

**共催セミナー 3（第3会場）**

共催：和光純薬工業株式会社

**糖尿病とメタボの関係 ―あなたは大丈夫？―**

演者：浅原 哲子（京都医療センター臨床研究センター）

司会：稲葉 頌一（神奈川県赤十字血液センター）

---

**共催（ランチョン）セミナー**

---

**第2日目：10月22日（火）12：00～12：45**

---

**共催セミナー 4（第1会場）**

共催：ヘモネティクスジャパン合同会社

**がんと向き合って**

演者：鳥越俊太郎（ジャーナリスト）

---

**共催セミナー 5（第2会場）**

共催：アボットジャパン株式会社

**針小棒大 E 型肝炎**

演者：三代 俊治（東芝病院研究部）

司会：日野 学（日本赤十字社血液事業本部）

---

**共催セミナー 6（第3会場）**

共催：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

**輸血業務と診療報酬～現況の理解と今後の展望～**

演者：半田 誠（慶應大学病院輸血・細胞治療部）

司会：浅井 隆善（千葉県赤十字血液センター）

---

**共催（ランチョン）セミナー**

---

**第3日目：10月23日（水）12：30～13：15**

---

**共催セミナー7（第2会場）**

共催：川澄化学工業株式会社

**アフエレーシス療法**

演者：山路 健（順天堂大学膠原病内科）

司会：面川 進（秋田県赤十字血液センター）

---

**特別セミナー**

---

**第2日目：10月22日（火）11：00～11：45**

---

**特別セミナー1（第3会場）**

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

**造血幹細胞移植と免疫グロブリン療法**

演者：井端 淳（北海道大学医学研究科専攻内科学講座）

司会：谷 慶彦（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

## ＜一般演題＞

### 検査 1 (口演)

第 1 日目：10 月 21 日（月）10：00～10：50 第 3 会場

松倉 晴道（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

O-001 HBc 抗体陽転化の遡及調査で、輸血から 1 年 10 ヶ月後に判明した HBV 感染の一例

香川県赤十字血液センター

本田 豊彦

小河 敏伸

佐藤美津子

濱岡 洋一

日本赤十字社血液事業本部

五十嵐 滋

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

内田 茂治

香川大学医学部付属病院輸血部

野村 努

伊関喜久男

馬場 夏美

O-002 AIDS の自己申告情報から確認された HIV-RNA 陽性事例について

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

助川 徹

鳥海 京子

田中美由紀

名雲 英人

百瀬 俊也

木村 泰

中島 一格

南 陸彦

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

内田 茂治

佐竹 正博

O-003 感染症報告に関する情報より判明した HBV 陽性献血者について

日本赤十字社九州ブロック血液センター

宮本 彰

真地 利尚

神山 治郎

今村由美子

中村 功

光富 吉朗

迫田 岩根

清川 博之

O-004 非ホジキンリンパ腫治療後の“輸血後に C 型肝炎が発症した 2 症例”への対応と課題

岩手県赤十字血液センター

井上 洋西

山本貴美子

中村 秀一

千田 邦彦

長岡 芳男

佐藤 繁雄

O-005 北海道内献血者における HEV 感染の実態解明

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

松林 圭二

坂田 秀勝

飯田 樹里

佐藤進一郎

加藤 俊明

池田 久實

高本 滋

---

**検査 2 (口演)**


---

**第 1 日目 : 10 月 21 日 (月) 11 : 00 ~ 11 : 50 第 3 会場**


---

**内田 茂治 (日本赤十字社中央血液研究所)**


---

**O-006 九州ブロックにおける NAT の 5 年間**

日本赤十字社九州ブロック血液センター	吉田 幸明	上田 勇佑	篠崎 隆平
	吉村 朋子	真鍋 寛司	橋口 聖一
	中村 功	清川 博之	

**O-007 HTLV-1 確認試験に関する考察～ WB 試験判定保留事例の Follow-up ～**

日本赤十字社九州ブロック血液センター	相良 康子	井上由紀子	後藤 信代
	長野 冬子	清川 博之	

**O-008 HTLV-1 検査法の比較検討**

日本赤十字社九州ブロック血液センター	井上由紀子	相良 康子	長野 冬子
	後藤 信代	清川 博之	

**O-009 我が国におけるウエストナイルウイルス (WNV) 感染発生時の献血血液の検査**

日本赤十字社血液管理センター	古澤 秀明	森安 浩之	後藤 康仁
	馬場 明美	沖 学	山中 烈次
	河 敬世		
日本赤十字社近畿ブロック血液センター	増田久美子		
日本赤十字社血液事業本部	平 力造		
日本赤十字社関東甲信越ブロックセンター	百瀬 俊也		

**O-010 核酸増幅検査 (NAT) 用ランコントロールの製造に向けた検討について**

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	橘川 薫	福田 俊洋	礪波 秀紀
	鈴木 雅治	内川 誠	南 陸彦

---

**献血者対応 1 (口演)**


---

**第 1 日目 : 10 月 21 日 (月) 14 : 00 ~ 14 : 50 第 3 会場**


---

**延島 俊明 (東京都赤十字血液センター)**


---

**O-011 ～新しい献血スタイル『ホテル献血』～**

大阪府赤十字血液センター	向井 裕紀	田中 晃	石上 雅一
	仲井 照洋	布一 正	神前 昌敏

## O-012 同型 HLA 適合ドナー確保に関する取組み

東京都赤十字血液センター

高橋 秀典	梅澤 史江	須藤 守弘
藤原 敦	飛松 昌宏	奥澤 康司
小泉 善男	松崎 浩史	松崎 政治
中島 一格		

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

小泉 善男 中島 一格

日本赤十字社東京都支部

松崎 政治

日本赤十字社血液事業本部

松崎 浩史

## O-013 聴覚障害者を対象とした献血取組の経験（推進課の立場から）

京都府赤十字血液センター

渡邊 琢仁	野口友理子	木本 昌史
山口 健彦	伊藤 俊之	辻 肇

## O-014 中四国ブロック血液センターの献血支援活動について

日本赤十字社中四国ブロック血液センター

二宮 宏樹	春川 沙希	細谷 淳
片岡 智	小合 郁夫	小野 裕
古賀 武生	土肥 博雄	

## O-015 新設献血ルームにおける新たな取り組み～feel の挑戦～（第1報）

東京都赤十字血液センター

中村 敬子	塚原 二郎	奥澤 康司
松崎 政治	中島 一格	

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

山田 祐一

## 供給 1（口演）

第1日目：10月21日（月）14：00～14：50 第4会場

中津留 敏也（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

## O-016 庄内出張所開設前後の供給体制の変化について

山形県赤十字血液センター

佐藤 勇人	武田 博昭	清水 博
-------	-------	------

## O-017 千葉県における供給出張所の設置について

千葉県赤十字血液センター

草間 富重	片岡 康德	小口 隆
本澤 司	庄司 充男	齋藤 稔
浅井 隆善		

## O-018 浜田供給出張所開設に伴う供給の現状と今後の課題について

島根県赤十字血液センター

庄司 寛隆	杉原 淳文	安達 航
宮崎 悠介	吉藤 邦宏	中筋 良治
安達 恵子	浦 博之	前迫 直久

山口県赤十字血液センター

栗栖 敏

## O-019 延岡供給出張所の設置に伴う営業所管理者の配置について

宮崎県赤十字血液センター	甲斐 寿	児玉 智恵	金丸 善彦
	甲斐 圭剛	柴田 貴浩	松浦 史朗
	入田 和男		
兵庫県赤十字血液センター	小林 善雄		

## O-020 供給出張所の新築・移転に関する考察

宮城県赤十字血液センター	佐々木 大	内海 直紀	横山 裕志
	澤村 佳宏	鈴木 元悦	伊藤 孝

---

 献血者対応 2 (口演)
 

---



---

 第 1 日目 : 10 月 21 日 (月) 15 : 00 ~ 15 : 50 第 3 会場
 

---



---

 布一 正 (大阪府赤十字血液センター)
 

---

## O-021 平成 24 年度九州ブロック学生献血推進協議会統一イベントの開催について

沖縄県赤十字血液センター	井上 稔之	山里 正	坂田 竜司
	平良 秀彦	照屋喜久夫	上江洲富夫
	大久保和明		

## O-022 街頭献血時のアンケート調査の結果報告～効果的な広報確立を目指して～

宮城県赤十字血液センター	青木 利昭	木村 康一	鈴木 浩一
	大場 保巳	鈴木 元悦	伊藤 孝

## O-023 Facebook は広報手段として使えるか

愛媛県赤十字血液センター	福田 稔	相原 敬治	上松陽二郎
	秋山 大悟	中村紗代子	稲丸 里佳
	廣木 哲也	松坂 俊光	

## O-024 若年層献血啓発にかかる企画広報の取り組み

鹿児島県赤十字血液センター	永田 祐輔	長崎 敏幸	古賀奈津子
	永田 佳織	三反崎光夫	牧 生恵
	竹島 良子	永野 幸子	白窪 正四
	田上 公威	小山 なせ	西 稔典
	藤村 慎一	中村 和郎	米澤 守光
	吉田 紀子		

## O-025 メディアを活用した若年層献血推進の効果

北海道赤十字血液センター	土田 幸司	菅原 拓男	兼松 藤男
	山本 哲		
日本赤十字社北海道ブロック血液センター	高本 滋		



## 供給 2 (口演)

第 1 日目 : 10 月 21 日 (月) 15 : 00 ~ 15 : 50 第 4 会場

瀧川 正弘 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

- O-026 震災後の人口動向からみた福島県血液事業の将来推計等についてー特に赤血球供給と確保の視点からー

福島県赤十字血液センター

一ノ渡俊也

石田 清光

渡部 淳子

金成恵美子

八木 卓造

今野 金裕

- O-027 血小板製剤使用パターン分析による需要予測の検討

福岡県赤十字血液センター

吉武由美子

澁田 成毅

守田 豊

宝蔵寺重信

山本 嘉正

松田 孝

古田 秀利

立花 和彦

下田善太郎

高橋 成輔

- O-028 輸血用血液製剤の自給自足達成と事業評価～供給部門の視点から～

鹿児島県赤十字血液センター

宮元 勝

新留 和海

永田 佳織

永野 雄太

糸 篤成

西迫 裕昭

藤村 慎一

米澤 守光

中村 和郎

吉田 紀子

- O-029 関東甲信越ブロックにおける大規模センターとしての血小板需給管理体制の状況について

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

中原 誠

木暮 秀哉

杉山 朋邦

瀧川 正弘

小泉 雅由

南 陸彦

日本赤十字社血液事業本部

簾持 俊洋

東京都赤十字血液センター

金子 章洋

- O-030 医療機関に対する血小板在庫状況の情報提供の試みについて

北海道赤十字血液センター

向野 弘人

田中 啓之

斎藤 和哉

塚田 好晃

山本 哲

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

高本 滋

---

 採血 1 (口演)
 

---

 第 1 日目 : 10 月 21 日 (月) 15 : 20 ~ 16 : 10 第 2 会場
 

---

 呉 禎吉 (北海道赤十字血液センター)
 

---

## O-031 採血後安静時間実態調査 (第 2 報) : ドナーは何秒休憩しているのか

宮城県赤十字血液センター	澤村 佳宏	佐藤 久美	佐藤奈穂子
	新林佐知子	七島 浩貴	伊藤 孝
公立大学法人福島県立医科大学輸血・移植免疫学講座	澤村 佳宏		
日本赤十字社東北ブロック血液センター	峯岸 正好	伊藤 孝	

## O-032 成分採血時の光電式脈拍モニターを用いた VVR 予知・予防の試みー第 3 報ー

岐阜県赤十字血液センター	堀田 友見	田中 琉海	亀山 美樹
	向井 和美	森崎 陽子	香田 昌宏
	廣瀬 一		

## O-033 VVR 発生予防のための下肢運動 (AMT) の試み

東京都赤十字血液センター	西谷祐三子	中川 美和	斎藤 博子
	梶 浩代	柴田 玲子	松崎 浩史
	中島 一格		

## O-034 採血副作用集計 平成 24 年度

日本赤十字社血液事業本部	松崎 浩史	首藤加奈子	青田 聖子
	林 実千代	塚田 克史	逢坂 泰弘
	滑川 岳史	小野垣沙知	
東京都赤十字血液センター	松崎 浩史		

## O-035 VVR の予防に関する一考察ーゼリー状飲料を使用してー (第 2 報)

奈良県赤十字血液センター	喜田 久美	山西 弘美	石田 宏美
	綿谷 静夏	角谷 利之	中西 秀行
	西川 一裕	岩下 恵子	嶋 裕子
	森田 倫史		
奈良県立医科大学地域健康医学教室	車谷 典男		

---

**献血者対応 3 (口演)**


---

**第 1 日目 : 10 月 21 日 (月) 16 : 00 ~ 16 : 50 第 3 会場**


---

**小泉 雅由 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)**


---

O-036 若年層献血者確保対策「しずおか 1629 (イチロクニーキュー) プロジェクト」～職員の意識統一と事業展開

静岡県赤十字血液センター

中野 有華

園田 大志

鳥居 愛美

曾根 渉

皆木 暢之

小野田千也

宮城 信治

村上 優二

藤浪 和彦

南澤 孝夫

O-037 将来の血液事業を支える若年層献血者確保維持への取り組みについて

秋田県赤十字血液センター

高橋 聡

菊地 雄大

堀井 和人

佐藤 史奈

田村 昭彦

阿部 真

面川 進

O-038 若年層献血者確保の取り組み～岐阜県における「氷菓×献血 献血キャンペーン」について～

岐阜県赤十字血液センター

佐伯 俊也

八代 麻衣

野倉 康紀

江戸屋裕次

末松 聡

香田 昌宏

小池 則弘

O-039 山形県の中学生・高校生の献血に対する意識の特色について

山形県赤十字血液センター

加藤 賢一

原 真一

清水 博

O-040 三重県学生献血推進連盟の立ち上げについて

三重県赤十字血液センター

鳥居 拓也

松井 伸之

長崎 幸治

多田羅吉晴

山川 芳洋

岡田 昌彦

---

**採血 2 (口演)**


---

**第 1 日目 : 10 月 21 日 (月) 16 : 20 ~ 17 : 10 第 2 会場**


---

**北折 健次郎 (愛知県赤十字血液センター)**


---

O-041 穿刺不良減少に向けての試み～皮膚マーキング法による穿刺～

京都府赤十字血液センター

山本 純子

平部 利香

浜崎裕美子

清水 和枝

伊藤 俊之

辻 肇

O-042 京都センター固定施設におけるシーフテストの円滑な導入

京都府赤十字血液センター

浜崎裕美子

海内 里佳

刀裯 利昭

大橋 一雄

清水 和枝

伊藤 俊之

辻 肇

## O-043 セルフチェックとしてシーフテストを導入して

愛知県赤十字血液センター

大脇八重子

西 亜矢子

佐藤 千尋

田爪 珠子

小野 知子

丹羽 啓子

津田 正成

北折健次郎

濱口 元洋

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

谷川美佳子

## O-044 神経損傷・神経障害予防対策としてのシーフテスト実施後の現状ー続報ー

奈良県赤十字血液センター

岩下 恵子

菅野和加子

山西 弘美

石田 宏美

中西 秀行

西川 一裕

石橋 良彦

高木 潔

嶋 裕子

塩田 明弘

森田 倫史

稲田整形外科病院

稲田 有史

## O-045 神経損傷にて受診を要した事例の分析

北海道赤十字血液センター

徳富 純子

大久保美智代

後藤 由紀

森橋 洋子

山森きぬえ

金井ひろみ

山本 哲

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

高本 滋

## GMP (口演)

第1日目：10月21日（月）17：20～18：10 第2会場

佐藤 陽子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

## O-046 通常実地指導における品質保証部門の取り組みについて

福岡県赤十字血液センター

井上 浩二

白木 喜子

石井 恵美

久富 政彦

古田 秀利

宮崎 卓

立花 和彦

下田善太郎

高橋 成輔

## O-047 全血採血由来製剤における白血球数試験不適検体中の白血球サブセット

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

齊藤 彰一

柴田 昭子

佐竹 正博

田所 憲治

## O-048 医療機関からの苦情を契機に判明した無菌試験陽性事例

日本赤十字社中四国ブロック血液センター

山本 裕士

岡田 佳奈

谷重 直子

伊藤八重子

大熊 重則

岡田 英俊

中橋 祥隆

直木 恭子

土肥 博雄

## O-049 保存前白血球除去製剤の白血球数試験結果について (2005-2013 年)

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	森山 理恵	宮島 晴子	松本 郷子
	菊地 裕美	関口 恵美	齊藤 彰一
	柴田 昭子	田所 憲治	

## O-050 秋田センターにおける輸血用血液の品質保証に関するインシデントについて

秋田県赤十字血液センター	鎌田 博子	二部 琴美	阿部 真
	面川 進		

---

**採血 3 (口演)**


---

**第 2 日目 : 10 月 22 日 (火) 9 : 00 ~ 9 : 50 第 3 会場**


---

**金井 ひろみ (北海道赤十字血液センター)**


---

## O-051 「10 単位血小板採取と HLA 登録者増加への取り組み」～高ヘマトクリット・低血小板献血者からの採取～

福岡県赤十字血液センター	大谷 加代	峰 かおり	池田 圭子
	梶島フクエ	姉川祐見子	下田善太郎
	高橋 成輔		

## O-052 長崎センター献血ルームにおける成分採血者からのアンケート調査の結果

長崎県赤十字血液センター	菅藤 隆子	山口 佳代	北野 秋枝
	関根 一郎		

## O-053 トリマアクセルで血漿リンスバックを使用した低体重女性からの血小板採取

東京都赤十字血液センター	井上 陽子	香山 マミ	松田 好美
	柴田 玲子	松崎 浩史	中島 一格

## O-054 PC 単位数の適正採血への取り組み

茨城県赤十字血液センター	倉田 礼子	高松 貴代	鈴木 久子
	飯村 峰子	路川 光一	佐藤 純一

## O-055 低体重及び低血小板数ドナーでのトリマの有用性

岡山県赤十字血液センター	小島 麻美	芦田久美子	小川峰津江
	高見 正恵	中島 千香	深井 祐子
	為本 朋子	大森久仁子	石原 義造
	川邊 修	池田 和真	